

人口減少対策について

質問 人口減少対策への町の取組みは

町▶移住定住、子育て支援など取り組んでいる



▲動画配信が見られます



うすい ひろみつ
薄井博光

問 人口減少問題は、特に若い世代の減少、世代間人口が重要である。直近5年間の出生数は。

答 〔企画財政課長〕
平成28年が143人、29年が111人、30年が90人、令和元年が108人、昨年令和2年は78人である。



入居が始まった黒田原地区定住促進住宅ウイングヴィーナス

問 人口減少対策としての町の取組みは。

答 〔企画財政課長〕
暮らしやすい、働きやすい環境を整備していくことが重要。交流人口の拡大、地域資源の活用、移住定住、子育て支援などを各課において主要事業として取り組んでいる。

問 若年層の町外流出防止には、企業誘致が必要であるが取組みは。

答 〔企画財政課長〕
町は企業誘致及び立地促進条例に基づき、誘致促進を図っている。財政的に厳しい状況だが、コロナ禍を逆にチャンスと捉えお試しサテライトオフィスなどを進めている。

町有財産の有効活用について

質問 魅力ある町有地の有効活用について

町▶^{*}土地利用対策委員会で検討する

問 旧黒磯市と那須町に建設予定の通称筒地大橋のもとにある町有地、筒地河川公園の利用計画は。

答 〔企画財政課長〕
河川沿いの良好な環境を生かし、町民の憩いの場となる拠点エリアとしての活用を含め、土地利用対策委員会で検討する。

問 那須高原地区にある旧岡田牧場は、42年前から町有地として手つかずの状態である。この土地の有効活用は。

答 〔総務課長〕
現在まで未利用状態となっている。今後は、全体の下刈りを行い、良好な森林空間を確保し、公有財産利活用基本方針に基づき、貸付、売却などの方向で考えている。

問 旧岡田牧場をキャンプ場として利用提案を考えている企業があるが、町の対応は。

答 〔総務課長〕
利活用の優先順位が高いので、引合いがあれば対応していく。



筒地河川公園を視察

※土地利用対策委員会…土地利用に対する諸問題に関して検討する委員会

◇ほかに…「農業と観光の振興について」の質問もしています。